

平成29年度職員提案の流れ

提案の募集

- ・募集期間:7月24日(月)~8月21日(月)
- ・応募数:13件

1次審査

- ・審査期間:9月13日(水)~9月29日(金)
- ・審査員:市システムを使用可能な全職員
- ・市システムを使用し、全職員による審査を実施
- ・13⇒7件に選抜

最終審査

- ・審査期間:10月6日(金)~10月20日(金)
- ・審査員:職員提案審査会委員(市長、両副市長、企画部長、総務部長)
- ・最終審査へ選抜された7件について、職員提案審査会委員5名による書類選考を実施

各賞の決定・事業化の検討

- ・1次審査の採点結果と最終審査の採点結果を合算し順位付け
- ・市長賞・1級・2級・努力賞の賞を決定
- ・最終審査の得点が60%以上の取組については、実施に向けて積極的に検討すべきものとする

各賞受賞提案一覧

件名	提案概要	賞
機械警備を複数年契約に移行し事業費を削減する	単年度随意契約で業務委託をしている出先施設等の機械警備について、複数年契約を前提とした入札による事業者選定を行い、競争による事業費の削減をめざす。また、入札実施ごとの定期的な警備内容の見直しや、単年度契約では毎年行う必要がある契約事務も軽減が期待できる。	2級
起案作成事務の見直し	現在の起案文書等(他の様式も含む以下同じ。)の説明欄には罫線が引かれています。起案文書の様式作成当時には手書きが主流であり、文を揃えるために、罫線が不可欠でしたが、パソコン等で作成した場合に不要となる罫線を廃止することを提案する。	努力賞
クールビズ事業の廃止、衣替えの概念の撤廃	クールビズ事業の廃止、衣替えの概念の撤廃	努力賞
出勤簿の廃止	職員の勤務状況は、庶務事務システムと出勤簿で重複管理しているが、出勤簿については、毎日の押印の代わりに、ICカードリーダーなどを利用して、職員の出退勤状況がデータベースに直接記録されるように改善する。これにより、勤務実態把握が容易になり、毎月の庶務事務システムと出勤簿の照合作業が簡素化され、事務の軽減につながる。	努力賞
出勤簿の捺印、集計作業の削減	出勤簿の捺印の代わりに、IC化されている職員証を認証させ出勤欠勤情報を庶務事務システムに反映させる。	努力賞
印鑑登録証等再発行の有料化	紛失、き損等自己都合による印鑑登録証等の再交付を有料化する。	努力賞
職場環境向上装置の設置(夏季限定)	空調設備を最大限活用するために、各課係に一台ずつ扇風機を提供できる環境をつくる。 地球温暖化に対応したエコ活動にも繋がる。(クーラーと扇風機を併用することにより、体感温度が2~3℃下がる。)	努力賞